

平成 25 年度 福島県外における人材育成研修会
(宮城県第 2 回)

実施日時	平成 25 年 12 月 12 日 (木) 13:00~17:00
実施場所	フォレスト仙台(仙台市)
主催	環境省
対象者	・ 保健医療福祉関係者、教育関係者及び自治体職員 ・ 住民から放射線の健康影響等の相談を受ける可能性がある方々
趣旨	放射線に関し適切な情報提供を行うため、福島県に近接する宮城県の保健医療福祉関係者、教育関係者及び自治体職員等を対象として修会を開催し、住民からの放射線の健康相談に適切に対応できる人材育成を行う。
参加人数	16 名

講演 1 では、杉浦 紳之講師（原子力安全研究協会）が放射線による健康影響について講演を行った。講演 2 では、石川 一講師（消費者庁）が食品中の放射性物質の評価と管理の現状等についての講演を行った。演習では、堀口 逸子講師（長崎大学）がリスクコミュニケーションについて基本的事項の講演を行った後、放射線に関する用語に慣れ、コミュニケーション方法を培うためのカルテットカードⁱを用いた参加型演習も行われた。最後に質疑応答及び意見交換が行われた。

参加者からは、放射線の健康影響について理解できた、リスクコミュニケーションの手法について日頃の業務に生かしていきたいとの意見が挙げられた。



質疑応答の様子



演習の様子

研修プログラム

時 間	内 容
13:00~13:10	開会
13:10~14:10	講演 1「放射線による健康影響」 講師：杉浦 紳之（公益財団法人原子力安全研究協会）
14:10~14:30	講演 2「食品中の放射性物質の評価と管理の現状等について」 講師：石川 一（消費者庁）
14:30~14:40	休憩
14:40~16:30	演習「リスクコミュニケーション」 講師：堀口 逸子（国立大学法人長崎大学）
16:30~16:50	質疑応答及び意見交換
16:50~17:00	閉会、アンケート

ⁱ カルテットカードはトランプゲームの一種で、4枚1組（カルテット）のカードを集めるゲーム。本研修で使用されたカルテットカードは、放射線のリスクコミュニケーションに関する能力開発を目的として、講師である堀口逸子氏により開発された教材のひとつ。日常生活、放射性物質、測定、有効利用、がん、リスク、不安、国の対応の計8テーマ毎に、関連する言葉が各カードに設定されている。カードで遊んでいるうちに放射線のリスクコミュニケーションに関する知識を習得することができる。